



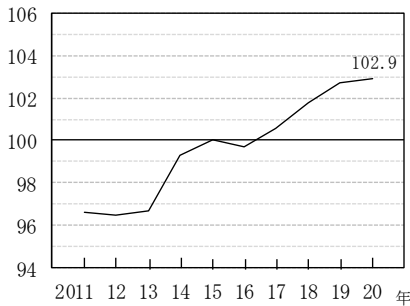
長野市の消費者物価指数 -2015年基準- 2020年平均(確報値)をお知らせします

総合指数は、2015年(平成27年)を100として**102.9**となり、**前年比は0.2%上昇**しました。

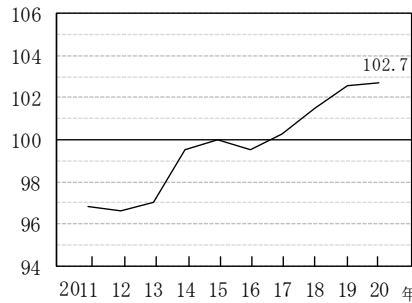
生鮮食品を除く総合指数は**102.7**となり、**前年比は0.1%上昇**しました。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は**102.8**となり、**前年比は0.5%上昇**しました。

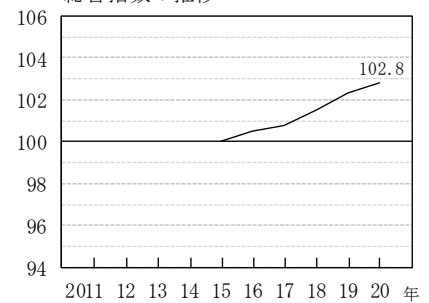
総合指数の推移



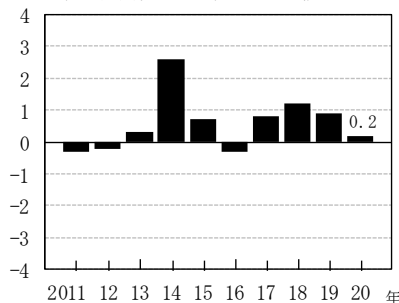
生鮮食品を除く総合指数の推移



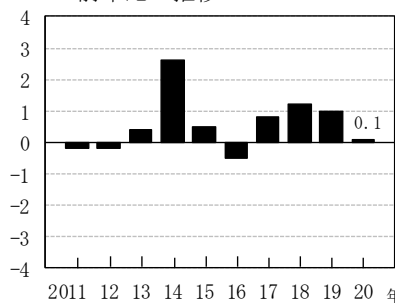
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の推移



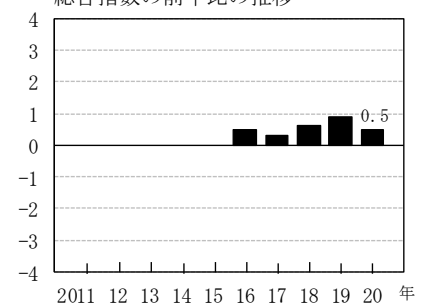
(%) 総合指数の前年比の推移



(%) 生鮮食品を除く総合指数の前年比の推移



(%) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の前年比の推移



(注) ・前年比の数値は、端数処理(四捨五入)の関係で、公表された指数を用いて算出した値とは一致しない場合があります。

・「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」指数については、2015年(平成27年)から公表が開始されました。

* 「長野市の消費者物価指数」は、インターネットでも提供しています。

アドレス <https://tokei.pref.nagano.lg.jp/>

* この資料は、「総務省統計局『小売物価統計調査』の調査票情報」の長野市内価格を集計したものです。

信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

企画振興部情報政策課統計室統計第一係
 (室長) 山岸 哲哉 (担当) 黒柳 五智
 電話 026-235-7070 (直通)
 026-232-0111 (代表) 内線 5156
 ファクシミリ 026-235-0517
 電子メール tokei@pref.nagano.lg.jp

1 近年の総合指数の動き

(2015年(平成27年) = 100)

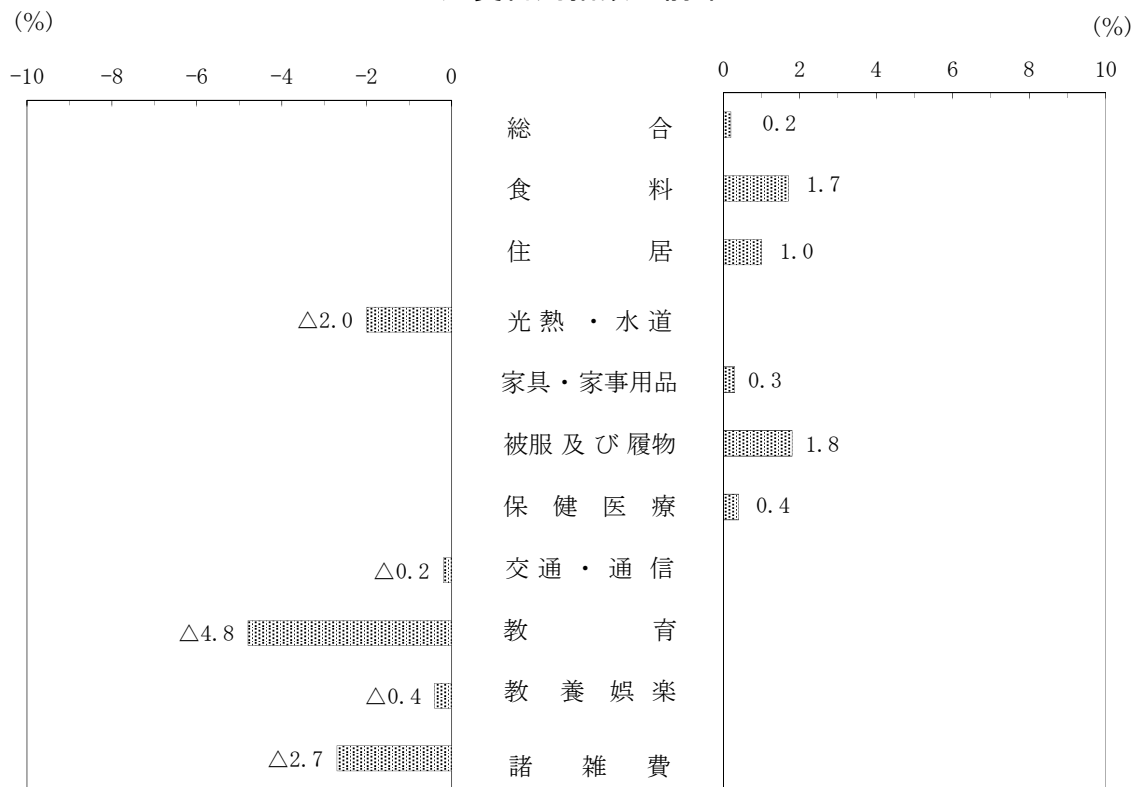
区 分	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
指 数	96.6	96.5	96.7	99.3	100.0	99.7	100.6	101.8	102.7	102.9
前年比(%)	△ 0.3	△ 0.2	0.3	2.6	0.7	△ 0.3	0.8	1.2	0.9	0.2

2 10大費目別指数

区 分	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・ 家事用品	被服 及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
ウエイト	10000	2507	1997	812	352	403	410	1642	215	1025	638
指 数	102.9	107.3	101.1	100.5	102.5	107.7	105.6	99.4	98.3	103.8	99.1
前年比(%)	0.2	1.7	1.0	△ 2.0	0.3	1.8	0.4	△ 0.2	△ 4.8	△ 0.4	△ 2.7

(注)ウエイト:総合と10大費目の合計は、端数処理のため一致していない。

10大費目別指数の前年比



消費者物価指数（長野市）

2020年平均 確報値

10大費目別

(2015年(平成27年)=100)

分類	指数	前年比
		%
総合	102.9	0.2
食料	107.3	1.7
穀類	106.2	0.8
魚介類	117.8	△1.1
生鮮魚介	108.5	△4.3
肉類	115.2	3.8
乳卵類	105.3	1.6
野菜・海藻	103.0	4.9
生鮮野菜	102.0	7.6
果物	117.4	6.4
生鮮果物	121.8	6.8
油脂・調味料	101.0	0.6
菓子類	105.4	1.1
調理食品	103.8	0.5
飲料	97.0	0.9
酒類	101.3	△0.3
外食	109.8	2.0
住居	101.1	1.0
家賃	99.6	△0.1
設備修繕・維持	106.5	5.0
光熱・水道	100.5	△2.0
電気代	96.8	△4.0
ガス代	103.1	△1.3
他の光熱	100.4	△6.8
上下水道料	103.7	1.5
家具・家事用品	102.5	0.3
家庭用耐久財	92.0	△1.9
室内装備品	115.2	3.3
寝具類	100.4	△2.7
家事雑貨	108.4	1.5
家事用消耗品	106.4	1.1
家事サービス	108.4	2.2
被服及び履物	107.7	1.8
衣料	102.7	△2.4
和服	101.9	1.4
洋服	102.7	△2.6
シャツ・セーター・下着類	108.9	1.7
シャツ・セーター類	108.9	1.4
下着類	108.9	2.4
履物類	125.0	13.9

分類	指数	前年比
		%
他の被服	105.1	2.1
被服関連サービス	106.0	5.8
保健医療	105.6	0.4
医薬品・健康保持用摂取品	101.7	1.8
保健医療用品・器具	109.1	0.1
保健医療サービス	106.6	△0.2
交通・通信	99.4	△0.2
交通	102.7	2.2
自動車等関係費	102.0	△0.8
通信	91.1	0.3
教育	98.3	△4.8
授業料等	93.6	△10.5
教科書・学習参考教材	102.7	1.3
補習教育	104.5	2.8
教養娯楽	103.8	△0.4
教養娯楽用耐久財	98.9	2.6
教養娯楽用品	109.4	2.1
書籍・他の印刷物	108.9	3.8
教養娯楽サービス	101.5	△2.5
諸雑費	99.1	△2.7
理美容サービス	102.3	1.5
理美容用品	101.7	0.2
身の回り用品	112.1	4.9
たばこ	116.2	3.7
他の諸雑費	90.2	△9.8
別掲		
生鮮食品	108.6	3.8
生鮮食品を除く総合	102.7	0.1
生鮮食品を除く食料	107.1	1.4
持家の帰属家賃を除く総合	103.4	0.3
持家の帰属家賃を除く住居	104.3	2.6
持家の帰属家賃を除く家賃	101.4	△0.6
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	103.2	0.1
エネルギー	101.0	△4.2
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	101.5	0.2
教育関係費	103.5	△2.8
教養娯楽関係費	103.0	△0.4
情報通信関係費	94.5	0.6
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	102.8	0.5

3 費目別指数の動き

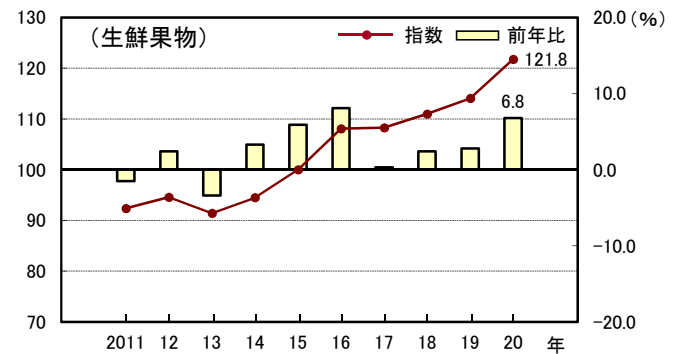
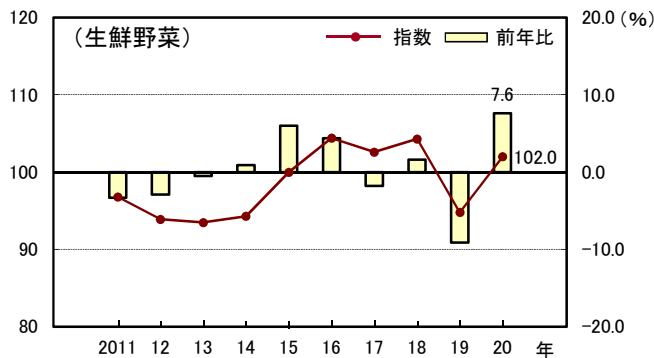
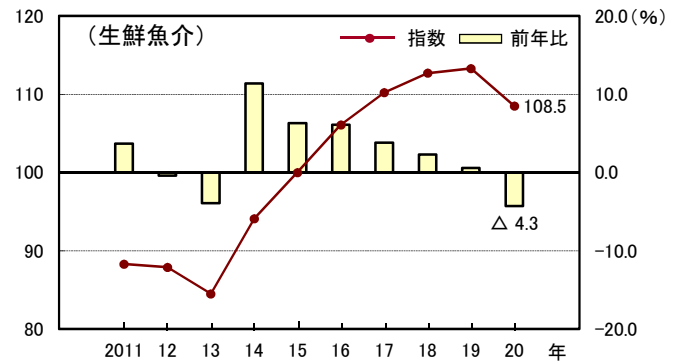
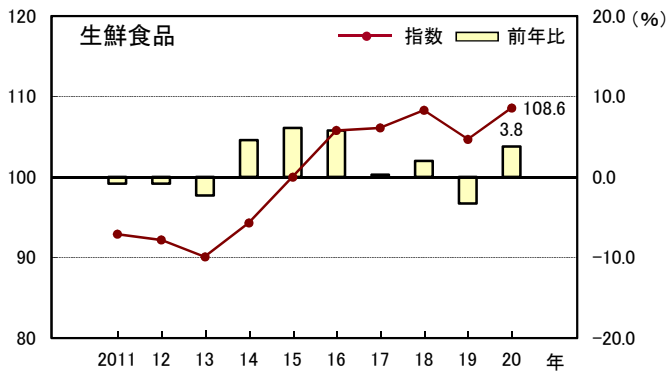
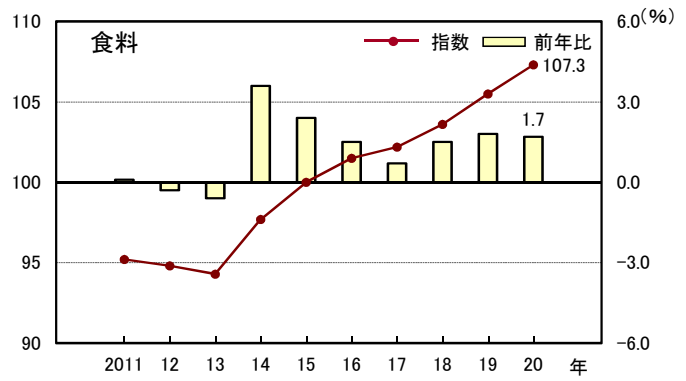
(1) 食料

年平均指数は107.3となり、前年比は1.7%上昇しました。

内訳をみると、「果物」は6.4%、「野菜・海藻」は4.9%、「肉類」は3.8%、「外食」は2.0%、「乳卵類」は1.6%、「菓子類」は1.1%、「飲料」は0.9%、「穀類」は0.8%、「油脂・調味料」は0.6%、「調理食品」は0.5%、それぞれ上昇しました。一方、「魚介類」は1.1%、「酒類」は0.3%、それぞれ下落しました。

生鮮食品についてみると、「生鮮野菜」は7.6%、「生鮮果物」は6.8%、それぞれ上昇しました。一方、「生鮮魚介」は4.3%下落しました。

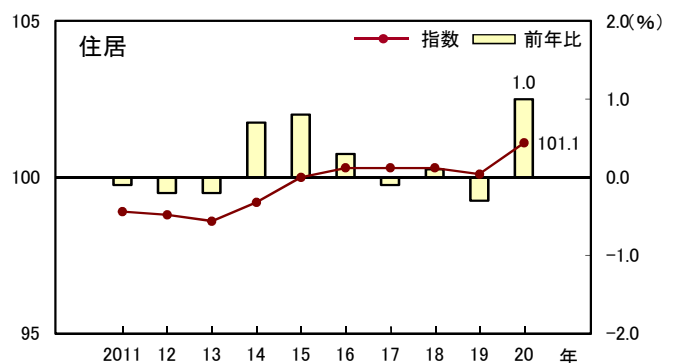
「生鮮食品」全体では、年平均指数は108.6となり、前年比は3.8%上昇しました。



(2) 住居

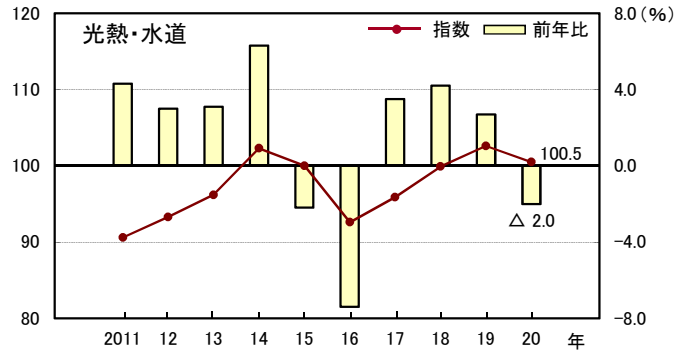
年平均指数は101.1となり、前年比は1.0%上昇しました。

内訳をみると、「設備修繕・維持」は5.0%上昇しました。一方、「家賃」は0.1%下落しました。



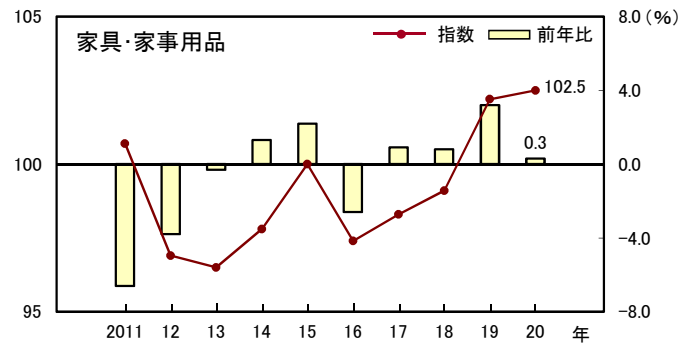
(3) 光熱・水道

年平均指数は100.5となり、前年比は2.0%下落しました。
内訳をみると、「上下水道料」は1.5%上昇しました。一方、「他の光熱」は6.8%、「電気代」は4.0%、「ガス代」は1.3%、それぞれ下落しました。



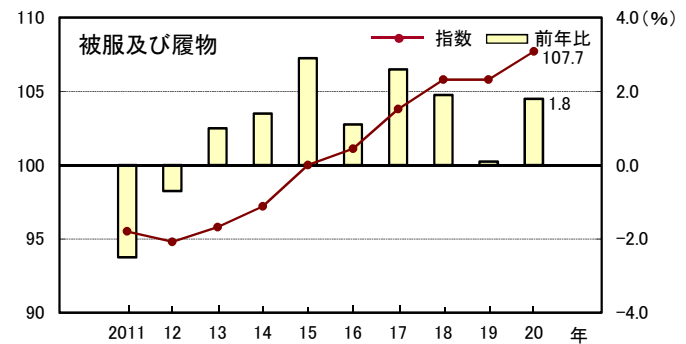
(4) 家具・家事用品

年平均指数は102.5となり、前年比は0.3%上昇しました。
内訳をみると、「室内装備品」は3.3%、「家事サービス」は2.2%、「家事雑貨」は1.5%、「家事用消耗品」は1.1%、それぞれ上昇しました。一方、「寝具類」は2.7%、「家庭用耐久財」は1.9%、それぞれ下落しました。



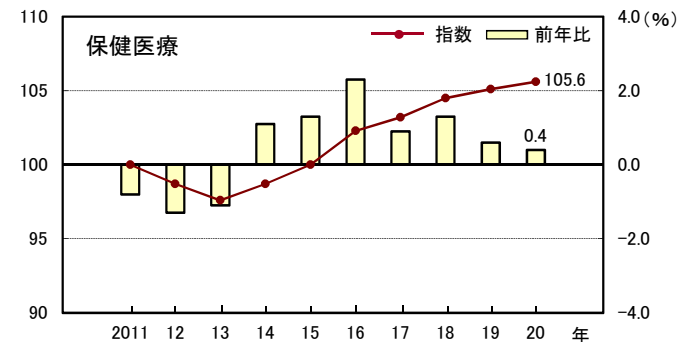
(5) 被服及び履物

年平均指数は107.7となり、前年比は1.8%上昇しました。
内訳をみると、「履物類」は13.9%、「被服関連サービス」は5.8%、「下着類」は2.4%、「他の被服」は2.1%、「和服」及び「シャツ・セーター類」は1.4%、それぞれ上昇しました。一方、「洋服」は2.6%下落しました。



(6) 保健医療

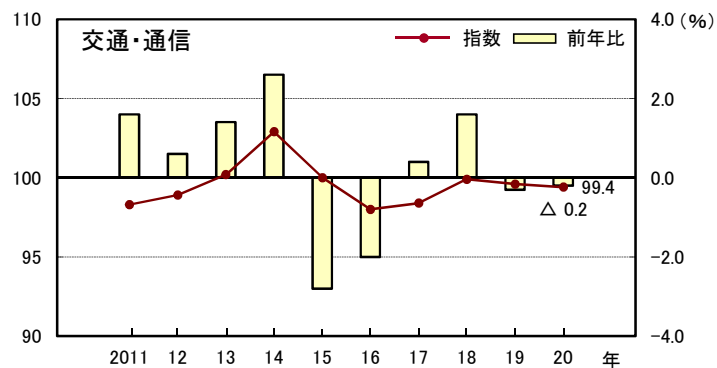
年平均指数は105.6となり、前年比は0.4%上昇しました。
内訳をみると、「医薬品・健康保持用摂取品」は1.8%、「保健医療用品・器具」は0.1%、それぞれ上昇しました。一方、「保健医療サービス」は0.2%下落しました。



(7)交通・通信

年平均指数は99.4となり、前年比は0.2%下落しました。

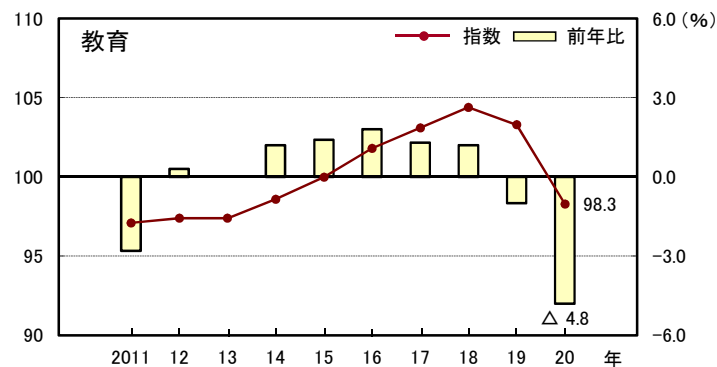
内訳をみると、「交通」は2.2%、「通信」は0.3%、それぞれ上昇しました。一方、「自動車等関係費」は0.8%下落しました。



(8)教育

年平均指数は98.3となり、前年比は4.8%下落しました。

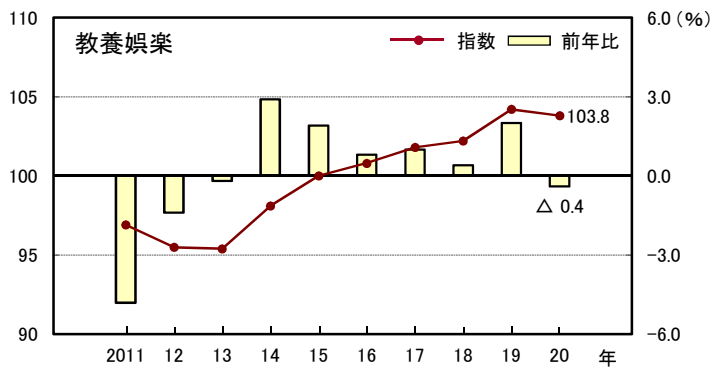
内訳をみると、「補習教育」は2.8%、「教科書・学習参考教材」は1.3%、それぞれ上昇しました。一方、「授業料等」は10.5%下落しました。



(9)教養娯楽

年平均指数は103.8となり、前年比は0.4%下落しました。

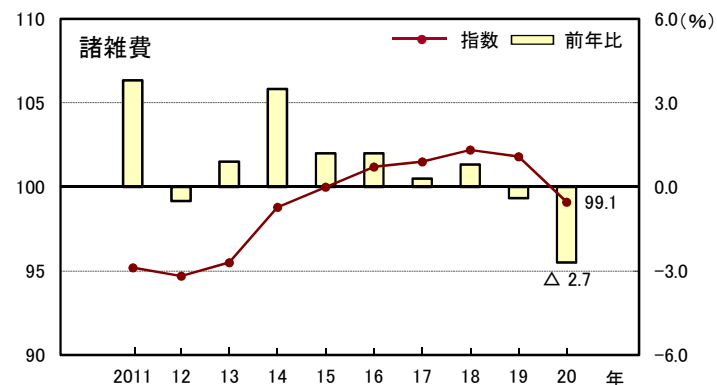
内訳をみると、「書籍・他の印刷物」は3.8%、「教養娯楽用耐久財」は2.6%、「教養娯楽用品」は2.1%、それぞれ上昇しました。一方、「教養娯楽サービス」は2.5%下落しました。



(10)諸雑費

年平均指数は99.1となり、前年比は2.7%下落しました。

内訳をみると、「身の回り用品」は4.9%、「たばこ」は3.7%、「理美容サービス」は1.5%、「理美容用品」は0.2%、それぞれ上昇しました。一方、「他の諸雑費」は9.8%下落しました。



2015年基準 都市別消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)

(2015年(平成27年) = 100)

区 分		長 野 市		全 国		東 京 都 区 部	
年		指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)
年 別	2011年	96.8	△0.2	96.6	△0.3	97.8	△0.4
	2012	96.6	△0.2	96.6	△0.1	97.3	△0.5
	2013	97.0	0.4	96.9	0.4	97.3	0.1
	2014	99.5	2.6	99.5	2.6	99.4	2.2
	2015	100.0	0.5	100.0	0.5	100.0	0.6
	2016	99.5	△0.5	99.7	△0.3	99.7	△0.3
	2017	100.3	0.8	100.2	0.5	99.8	0.2
	2018	101.5	1.2	101.0	0.9	100.6	0.8
	2019	102.6	1.0	101.7	0.6	101.5	0.9
	2020	102.7	0.1				
年 度 別	2010年度	96.9	△0.8	96.7	△0.8	98.0	△0.9
	2011	96.8	△0.1	96.7	0.0	97.7	△0.3
	2012	96.6	△0.3	96.5	△0.2	97.1	△0.6
	2013	97.3	0.7	97.2	0.8	97.5	0.4
	2014	100.1	2.9	100.0	2.8	100.0	2.5
	2015	99.9	△0.3	100.0	0.0	100.0	0.0
	2016	99.7	△0.2	99.7	△0.2	99.6	△0.4
	2017	100.6	1.0	100.4	0.7	100.0	0.4
	2018	101.8	1.2	101.2	0.8	100.9	0.9
	2019	102.9	1.0	101.8	0.6	101.7	0.7